

学生の学びを促すシラバスの書き方

■講師

葛城 浩一（香川大学 大学教育基盤センター 能力開発部 准教授）

平成 12 年 3 月広島大学教育学部教育学科卒、平成 22 年広島大学にて博士（教育学）の学位取得。平成 20 年度より香川大学大学教育開発センター（現・大学教育基盤センター）准教授、平成 21 年度より香川大学大学院教育学研究科を兼任。

■プログラム概要

あなたはシラバスをどうやって書いていますか（書こうと思っていますか）？「シラバスなんてどうせ学生もちゃんと見やしないんだから適当に書いておけばいいだろう」なんて思っていないですか？実はシラバスの書き方にはいくつか重要なポイントがあって、そのポイントをおさえていないと、あなた自身は勿論のこと、学生が不利益を被ることもあります。

一方、うまくポイントをおさえて書くことができれば、シラバスは授業選択ガイドや契約書としての役割だけでなく、学生の学びを促す役割を果たすことができます。本講座では、シラバスを書く際のポイントについて解説し、そのポイントをふまえてご自身のシラバスを修正（作成）していただきます。

■準備物や事前課題

ご自分の授業のシラバスがあればご持参ください。

■主な受講対象

まだ講義経験がないか数年未満の講義経験の教員の方を歓迎します。

■本プログラムの到達目標

1. シラバスの定義を説明することができる。
2. 適切な目的を書くことができる。
3. 適切な目標を書くことができる。
4. 効果的な学習を促すスケジュールをデザインできる。
5. 適切な評価方法を書くことができる。

■日時・場所

日時：平成 30 年 8 月 29 日（水）10：00～12：00

場所：香川大学幸町北キャンパス